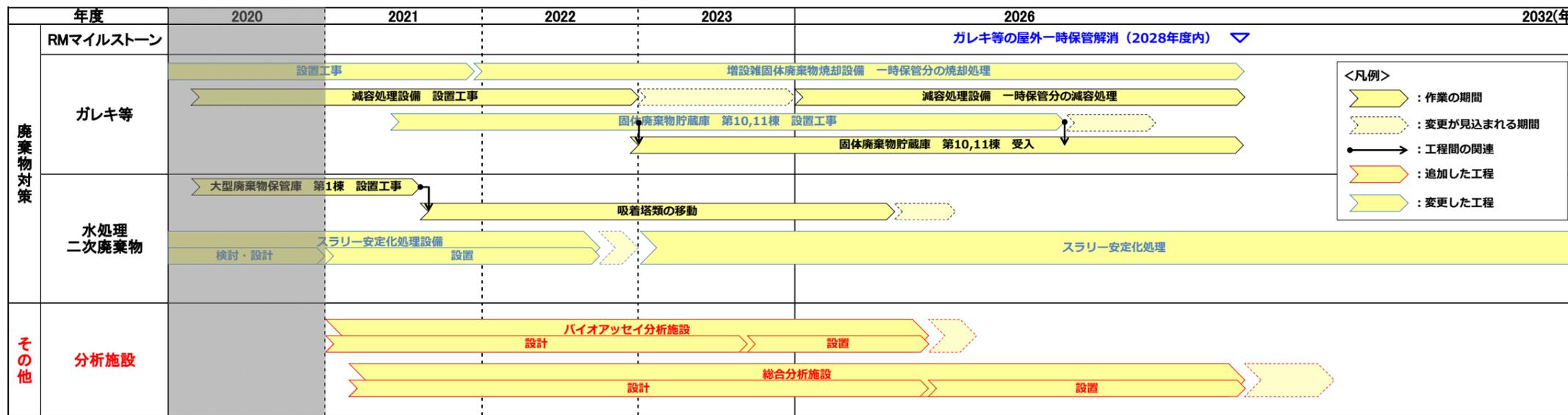


放射性廃棄物処理・処分 スケジュール

分野名	計画名	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定	スケジュール												備考					
				11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月以降										
●カレキ等の屋外一時保管解消 (2028年度内)	●固体廃棄物の保管管理、処理・処分計画	一時保管エリアの変更	(実績/予定)	設計・設計																	
		雑固体廃棄物焼却設備	(実績) 処理運転 (A・B系) (予定) 処理運転 (A・B系)、年次点検	処理運転																	
		除染装置 (AREVA) スラッジ	(実績) スラッジ対処方法検討、建屋内線量低減、プロセス主建屋仮設構台の据付 (予定) スラッジ対処方法検討、建屋内線量低減、プロセス主建屋仮設構台の据付、開口部設置	スラッジ対処方法検討															2021年11月22日監視・評価検討会を踏まえ、閉じ込め機能に関する設計見直しを実施中。完了時期については、進捗を踏まえて変更予定		
		増設雑固体廃棄物焼却設備	(実績) 現地工事 (管理区域設定、現場片付け等)、系統試験、コールド及びホット試験 (予定) 現地工事 (管理区域設定、現場片付け等)、コールド及びホット試験、処理運転 (準備含む)	現地工事 (管理区域設定、現場片付け等) 系統試験															2022年3月：設備竣工 2022年3月：処理運転 (準備含む) 開始		
		減容処理設備	(実績) 鉄骨工事 (鉄骨建方等)、屋根工事 (予定) 鉄骨工事 (鉄骨建方等)、屋根工事、壁設置工事	鉄骨工事 (鉄骨建方等) 屋根工事															2023年3月：設備竣工		
		固体廃棄物貯蔵庫第10棟	(実績) 設計検討 (予定) 設計検討、地盤改良工事 (10-A~C棟)、基礎工事 (10-A棟)	設計検討															2023年4月：10-A棟竣工 2023年6月：10-B棟竣工 2024年6月：10-C棟竣工		
		固体廃棄物貯蔵庫第11棟	(実績/予定) 設計検討	設計検討															2022年8月完了予定		
		●水処理二次廃棄物	大型廃棄物保管庫	鉄骨工事 (外部足場、鉄骨建方等)	鉄骨工事 (外部足場、鉄骨建方等)															(精査継続)	
				屋根工事 (コンクリート打設等)	屋根工事 (コンクリート打設等)																(精査継続)
				外壁工事 (外壁取付)	外壁工事 (外壁取付)																2/13の地震に関する影響評価を踏まえ、クレーン耐震構造設計見直しを実施中。竣工時期については、2022年度竣工を念頭に、設計・製作工程等の見直し期間を確認した上で、精査中
スラリー安定化処理設備	スラリー安定化処理設備	安定化処理設備の設計検討	安定化処理設備の設計検討															2021年7月12日監視・評価検討会を踏まえ、閉じ込め機能に関する設計見直しを実施中。完了時期については、進捗を踏まえて変更予定			
		建屋現地工事	建屋現地工事																建屋現地工事の着工・竣工時期については、設計検討の見直し期間を確認した上で、変更予定		

分野名	廃炉中長期実行プラン2021 目標工程	活の	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定	11月		12月		1月	2月	3月	4月	5月	6月以降	備考			
					14	21	28	5	12	19	26	2	9	16		23	30	
●その他廃棄物対策関連作業	3. 固体廃棄物の性状把握		(実績/予定) ・計画に基づいたサンプリングの実施 ・瓦礫類分析 ・汚染水分析 ・水処理二次廃棄物分析	環境作業	計画に基づいたサンプリングの実施										<ul style="list-style-type: none"> 多核種除去設備の運転状況に応じて順次試料を採取 2021年11月30日：SARFY II 処理水試料6点を採取 			
					瓦礫類分析												(分析継続)	
					汚染水分析													(分析継続)
					水処理二次廃棄物分析													(分析継続)
●分析施設	4. 分析・研究施設の設置	処理・処分計画	(実績/予定) ・風量不足の対策検討 ・原因調査・現場対策工事	設計・設計	風量不足の対策検討										<ul style="list-style-type: none"> 水処理二次廃棄物：ALPS吸着材等を分析中 これまでの分析結果は以下のウェブページにまとめられている リスト：https://clads.jaea.go.jp/rd/tech-info/html 検索：https://frandl-db.jaea.go.jp/FRAnDL/ 2021年1月：管理区域用送風機、排風機単体作動試験 管理区域用送風機、排風機の単体作動試験（2台運転時）において風量不足を確認。（ダクトの圧損が想定よりも大きいため） 2022年7月～9月頃：系統試験 			
					原因調査・現場対策工事													(2022年6月完了予定)
					設計検討													
					概念検討													
●分析施設	4. 分析・研究施設の設置	処理・処分計画	(実績) ・設計検討	設計・設計	バイオアッセイ施設										(2023年8月完了予定)			
					(予定) ・設計検討 ・詳細設計													
●分析施設	4. 分析・研究施設の設置	処理・処分計画	(実績) ・概念検討	設計・設計	総合分析施設										(2023年9月完了予定)			
					(予定) ・概念検討 ・設計検討													

廃炉中長期実行プラン2021



注：今後の検討に応じて、記載内容には変更があり得る

瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2021.11.30時点)

分類	保管場所	保管容量 ^{※1,2}		保管量 ^{※1}		前回集約からの増減 ^{※3} 2021.10.29 - 2021.11.30		エリア 占有率	保管量/保管容量 ^{※1,2} (割合)	トピックス
瓦礫類	屋外集積 (0.1mSv/h以下)	A	13,800	0	0	0	0	0%	226,700 / 278,000 (82%)	<ul style="list-style-type: none"> 主な増減理由 タンク関連工事、敷地造成関連工事、碎石取り出し(エリアC) フランジタンク除染作業(エリアAA)
		B	5,300	5,300	0	0	0	100%		
		C	67,000	66,100	+200	0	0	99%		
		F2	7,500	6,400	0	0	0	85%		
		J	8,000	6,200	0	0	0	78%		
		N	10,000	9,600	0	0	0	96%		
		O	51,400	44,000	0	0	0	86%		
		P1	64,000	62,600	0	0	0	98%		
		U	800	700	0	0	0	100%		
		V	6,000	6,000	0	0	0	100%		
		AA	36,400	19,700	+400	0	0	54%		
		d	1,200	0	0	0	0	0%		
		e	6,700	0	0	0	0	0%		
瓦礫類	シート養生 (0.1~1mSv/h)	D	4,500	2,600	0	0	58%	42,300 / 77,400 (55%)	<ul style="list-style-type: none"> 主な増減理由 エリア整理のための移動(エリアW) 1~4号機建屋周辺関連工事(エリアm) 	
		E1	16,000	14,800	0	0	93%			
		P2	9,000	5,900	0	0	65%			
		W	29,300	9,600	+100	0	33%			
		X	12,200	6,200	0	0	51%			
		m	3,100	300	+300	0	9%			
		n	3,300	2,900	0	0	88%			
瓦礫類	覆土式一時保管施設、容器 (1~30mSv/h)	L	16,000	16,000	0	0	100%	17,300 / 18,500 (94%)	<ul style="list-style-type: none"> 主な増減理由 エリア整理のための移動(エリアE2) 	
		E2 ^{※4}	1,800	600	-100	0	35%			
瓦礫類	固体廃棄物貯蔵庫	固体廃棄物貯蔵庫 ^{※4}	39,600	26,300	+200	0	66%	26,300 / 39,600 (66%)	<ul style="list-style-type: none"> 主な増減理由 1~4号機建屋周辺関連工事 敷地造成関連工事 エリア整理のための移動 	
合計(カレキ)			413,400	312,500	+1,100	0	76%			
伐採木	屋外集積 (幹・根・枝・葉)	G	40,000	31,200	0	0	78%	103,500 / 134,000 (77%)		
		H	43,000	31,700	0	0	74%			
		M	45,000	39,800	0	0	88%			
		V	6,000	800	微増	0	13%			
	一時保管槽 (枝・葉)	G	29,700	26,200	0	0	88%	37,300 / 41,600 (90%)		
合計(伐採木)		175,600	140,800	微増	0	80%				
保護衣	屋外集積		52,500	28,900	-1,400	0	55%	28,900 / 52,500 (55%)	<ul style="list-style-type: none"> 使用済保護衣等焼却量: 10,175 t (2021年11月末累積) 焼却灰(プラスト材含む)のドラム缶数: 2,587 本 (2021年11月末累積) 焼却灰は固体廃棄物貯蔵庫9棟2階に放射性廃棄物として保管 	
		合計(使用済保護衣等)		52,500	28,900	-1,400	0	55%		

※1 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある
 ※2 保管容量の記載については、廃棄物管理の適正化の検討を踏まえて見直す
 ※3 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは50m³未満の増減を示す
 ※4 水処理二次廃棄物(小型フィルタ等)を含む

仮設集積の管理状況(2021.11.30時点)

分類	場所	保管容量※1		保管量※1		前回集約からの増減※2 2021.10.31 - 2021.11.30		エリア 占有率	保管量/保管容量※1 (割合)	トピックス
仮設集積	①	3,000	m ³	2,800	m ³	+600	m ³	92%	55,600 / 70,300 (79%)	<ul style="list-style-type: none"> 仮設集積場所は工事で発生した不要物品や撤去物を分別、容器収納し、一時保管エリアに移送するまで一時的に保管する場所である エリア整理、コンテナ点検に伴い一時保管エリアへの瓦礫等の搬入が停滞しているため、仮設集積が長期化、量が増加している この状況を改善し、廃棄物管理の適正化を図るため、まず、2021年度内にできるだけ固体廃棄物Gの仮設集積場所に仮設集積を集約して管理できるようにする計画である また、一時保管エリアの保管容量を確保し、2022年度内に仮設集積を最小化する計画である
	②	3,000	m ³	3,000	m ³	0	m ³	100%		
	③	2,000	m ³	1,800	m ³	0	m ³	92%		
	④	12,000	m ³	9,200	m ³	+900	m ³	77%		
	⑤	14,000	m ³	13,800	m ³	0	m ³	99%		
	⑥	4,000	m ³	2,000	m ³	+200	m ³	51%		
	⑦	9,000	m ³	5,900	m ³	+800	m ³	65%		
	⑧	4,500	m ³	3,500	m ³	0	m ³	78%		
	⑨	1,500	m ³	1,500	m ³	0	m ³	100%		
	⑩									
	⑪	2,400	m ³	1,200	m ³	0	m ³	50%		
	⑫	1,800	m ³	1,800	m ³	0	m ³	100%		
	⑬	2,200	m ³	1,200	m ³	0	m ³	52%		
	⑭	2,200	m ³	2,200	m ³	0	m ³	100%		
	⑮	2,000	m ³	2,000	m ³	0	m ³	100%		
	⑯	5,600	m ³	2,800	m ³	0	m ³	50%		
	⑰									
	⑱	1,100	m ³	900	m ³	0	m ³	84%		

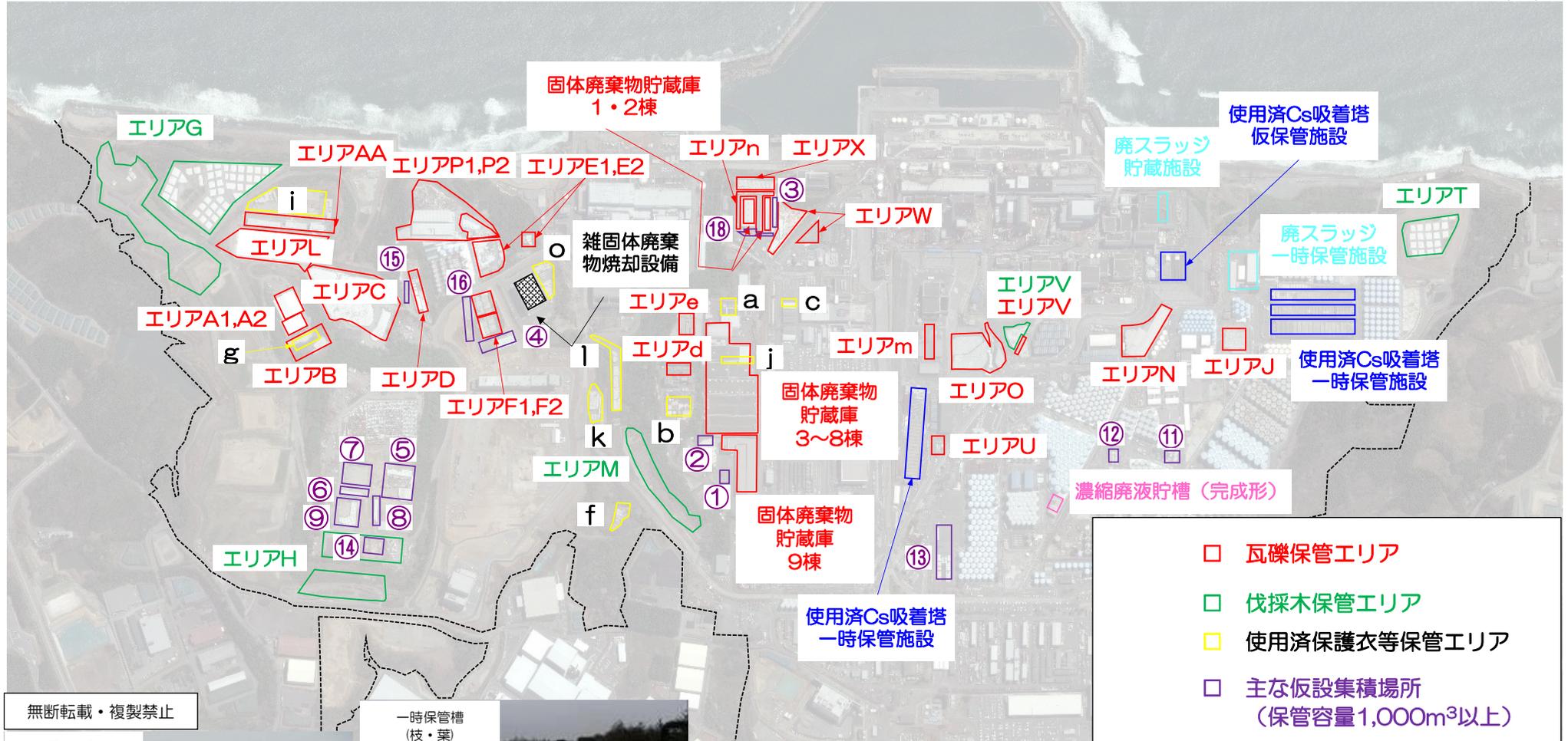
※1 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある

※2 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは50m³未満の増減を示す

水処理二次廃棄物の管理状況(2021.12.2時点)

分類	保管場所	種類	保管量	前回集約からの増減 2021.11.4 - 2021.12.2	保管量/保管容量 (割合)	トピックス
水処理 二次 廃棄物	使用済吸着塔 保管施設	セシウム吸着装置使用済ベッセル	779 本	0 本	5,253 / 6,372 (82%)	
		第二セシウム吸着装置使用済ベッセル	248 本	0 本		
		第三セシウム吸着装置使用済ベッセル	11 本	0 本		
		多核種除去設備等保管容器	1,959 基	+7 基		
		高性能多核種除去設備使用済ベッセル	83 本	0 本		
		多核種除去設備処理カラム	17 塔	0 塔		
		モバイル式処理装置等使用済ベッセル及びフィルタ類	217 本	+1 本		
廃スラッジ 貯蔵施設	廃スラッジ	440 m ³	-1 m ³	440 / 700 (63%)		
濃縮廃液タンク	濃縮廃液	9,323 m ³	-34 m ³	9,323 / 10,300 (91%)	<ul style="list-style-type: none"> タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内(現場パトロール異常なし) 水位計0%以上の保管量： 9,223 m³ タンク底部～水位計の保管量(DS)： 約 100 m³ 	

福島第一原子力発電所 固体廃棄物等保管エリアの構内配置図



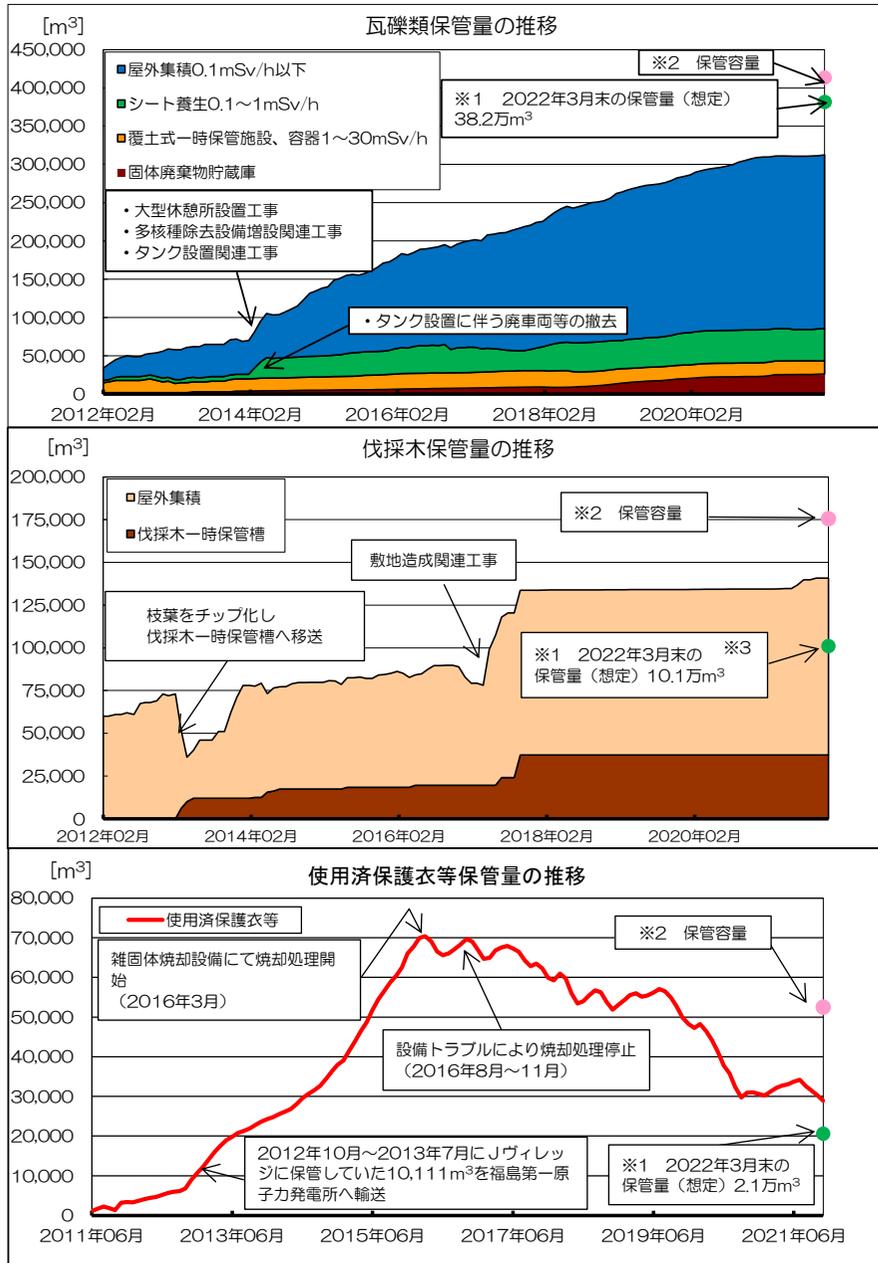
無断転載・複製禁止



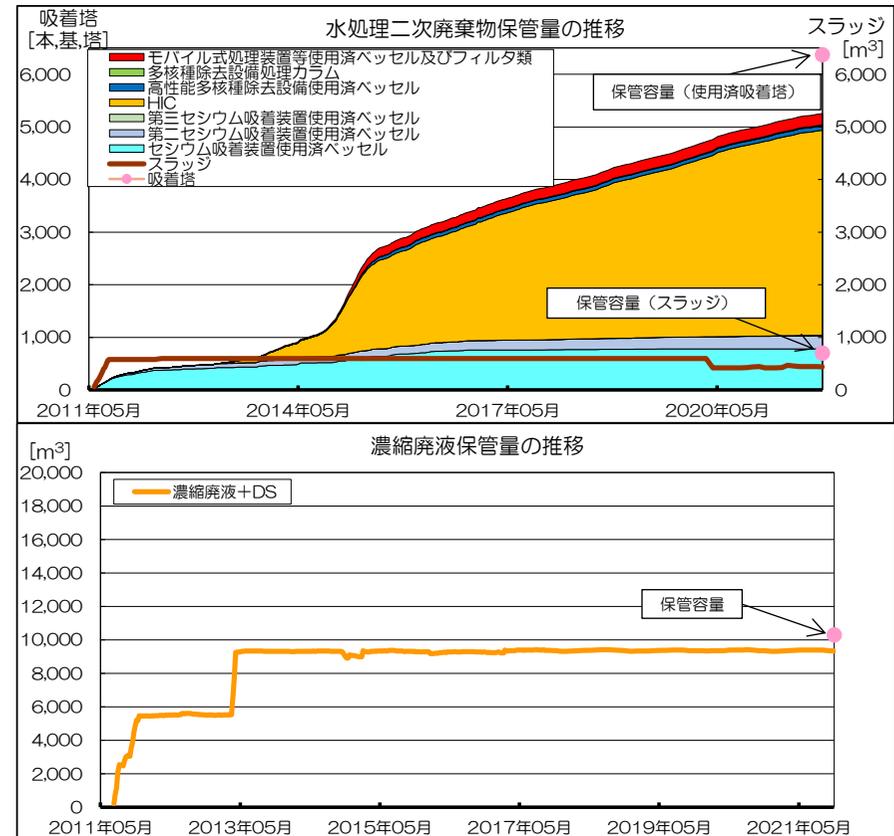
提供: 日本スペースイメージング(株)2021.4.8撮影
Product(C)[2021] DigitalGlobe, Inc., a Maxar company.



瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2021.11.30時点)



水処理二次廃棄物の管理状況(2021.12.2時点)



※1 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管量(想定)は、実施計画(2021年11月11日認可)の予測値を示す。
 ※2 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管容量は、運用上の上限を示す。
 ※3 増設雑固体廃棄物焼却設備の竣工遅れに伴い見直し予定